



国立大学法人

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

平成23年 3月 1日

## 音楽のシルクロード（ご案内）

1. 日程 平成23年3月11日（金） 19時
2. 場所 チトセピアホール
3. 概要

今回の演奏会の特色としては、日本のメロディーにも多くの影響を与えた中国の民謡や歌曲、それにピアノ曲をお楽しみいただけます。声楽でお聞きいただくウイグル民謡や、ピアノで奏される広東民謡など、情緒豊かなステージをお楽しみいただけることと思います。

詳細は別紙のとおり

【問い合わせ先】

長崎大学教育学部

堀内研究室

電話：095-819-2343

# 音楽のシルクロード Part 1

～中国から長崎へ～

日 時：2011年3月11日(金) 開演 19:00

会 場：チトセピアホール

入場無料：どなたでもご参加いただけます。

多くの文化がそうであったように、音楽もまた、シルクロードをたどり中国や韓国を經由、あるいは海路を経て長崎に伝わりました。音楽のルーツをシルクロードのイメージに重ね、実際の作品や演奏に触れながら、遠く天山山脈やその向こうの敦煌に思いを馳せてみたいと思います。演奏会場内に、中国で有名な書家であり画家である、王登科先生の絵を展示します。

## 【主な演奏曲目】

SILK ROAD OF MUSIC

- ◎日本歌曲（明治～大正～昭和、各時代の代表的な日本の歌曲から）
- ◎中国のピアノ曲：平湖秋月（陈培勋 作曲）、彩云追月（広東民謡編曲）
- ◎中国の歌曲：草原の夜、阿拉木汗、曲曼地（ウイグル民謡）、懐念戦友（雷振邦 作曲）
- ◎この秋に（三上次郎 作曲）
- ◎弦楽合奏のための2つの印象（三上次郎 作曲）
- ◎ヴァイオリンとピアノのためのエッセイ「祈り～そして大地へ～」（三上次郎 作曲）（初演） 他

## 出演者

### 【長崎大学】

堀内伊吹（ピアノ、教授）

宮下 茂（声楽、准教授）

加納 暁子（ヴァイオリン、准教授）



三上次郎  
（作曲・ピアノ伴奏、教授）

### 【中国鞍山師範学院】



趙大海 (zhao dahai)  
鞍山師範学院音楽科  
声楽講師



王登科 (wang dengke)  
鞍山師範学院美術科教授



于广壮 (yu guangzhuang)  
鞍山師範学院音楽科主任

### 【賛助出演】

草場紀久子（フルート、長崎大学非常勤講師、活水女子大学音楽学部准教授）

宮田 浩久（チェロ、長崎大学非常勤講師、九州交響楽団チェロ奏者）

### 【弦楽アンサンブル】

川口千穂、菅家恭子、李 軍（ヴァイオリン）、黒川律子、小林知弘（ヴィオラ）、  
田辺清士（チェロ）、谷口正美（コントラバス）



### アクセス

- 路線バス「住吉」バス停下車、徒歩1分。
- 路面電車「千蔵町」電停下車、徒歩1分。
- 長崎バイパス（西浦上トンネル口）より住吉方面へ10分。

### ◎チトセピア駐車場

駐車台数 372台

営業時間 6:00～23:00

駐車料金 30分ごとに100円

主催：長崎大学 後援：長崎県音楽連盟、長崎国際観光コンベンション協会

お問い合わせ 堀内研究室 ☎095-819-2343

長崎大学の教職員及び地域の皆様へ

演奏会のご案内です。

諸般の事情により、12月より延期になっていました「音楽のシルクロード Part 1 ～中国から長崎へ～」を、来る3月11日（金）午後7時から、チトセピアホールで開催します（入場無料）。この演奏会は、長崎大学中期目標に基づき、社会にニーズに沿った演奏会を開催し、地域社会に開かれた芸術の場をつくり、文化発信をするものです。今回の演奏会では、本学の三上次郎先生作品を中心に構成し、中国・鞍山師範学院から声楽・ピアノの先生方を招待します。日・中それぞれの歌曲や民歌、ピアノ曲そしてオリジナル曲を披露します。また、同学院美術科教授で、中国では書家としても著名な王登科先生もあわせて招待し、会場内に絵画（掛け軸）を展示します。中国絵画に囲まれて、日本とそして中国の情緒に浸っていただけたらと思います。

今回の演奏会の聴きどころをご紹介します。

まず今回の演奏会の特色としては、日本のメロディーにも多くの影響を与えた中国の民謡や歌曲、それにピアノ曲をお楽しみいただけます。声楽でお聞きいただくウイグル民謡や、ピアノで奏される広東民謡など、情緒豊かなステージをお楽しみいただけることと思います。

また、明治から大正、昭和へと、各時代の代表的な日本の歌曲（荒城の月、六騎、ゴンドラの唄 ほか）を、宮下茂先生が熱唱されます。

前半を締めくくる王先生ご自身の書や絵画に関するスピーチのあと、休憩時には、会場を取巻く絵画作品群を味わっていただけます。

演奏会の後半には、作曲家「三上次郎の世界」を存分にご堪能いただけます。特に、今回の演奏会のために書き下ろされた「ヴァイオリンとピアノのためのエッセイ『祈り～そして大地へ～』」＜初演＞は、聴きごたえ十分です。また、10年以上前に作曲された「フルートとピアノのための『この秋に』」、そして昨年作曲され、今回は九州交響楽団からの客演を交えて演奏される「弦楽合奏のための2つの印象」との聴き比べをされても面白いかと思います。

お問い合わせ先

教育学部 堀内研究室

095-819-2343

[horiiuchi@nagsaki-u.ac.jp](mailto:horiiuchi@nagsaki-u.ac.jp)